

いまどきの 犬の飼い方について



これから犬を飼う方も、今一緒に暮らしている方も、もう一度見直してみましょう

お散歩はリードをつけて安全に

放し飼いは法律や条例で禁止されています。人通りが少なくても、絶対に放してはいけません。散歩のときは必ずリードをつけて、しっかりコントロールしましょう。伸びるリードは扱いが難しいため注意が必要です。

飛び出し防止のためにできること

玄関にはゲートを設置して二重扉にすると、犬の飛び出し防止に効果的です。
首輪やハーネスは体に合ったサイズを選び、成長や体型の変化にあわせて定期的に見直しましょう。
緩すぎると散歩中や興奮した際に抜けてしまう恐れがあります。

首輪・名札・鑑札等をつけましょう

万が一、犬が迷子になってしまったときに備えて「この子は飼い犬です」とすぐわかるようにしておくことも大切です。そのためにも、首輪は常につけておき、名前や連絡先が書かれた名札や自治体で交付される鑑札・注射済票などをきちんと装着しておきましょう。

犬が安心できる快適な空間づくり

犬が安心して過ごせるよう、サークルやゲージで落ち着けるスペースをつくり、タオルやシーツなどで視界を遮るとよりリラックスできます。
トイレはごはんの場所から離し、ベッドは犬の体より一回り大きいものを選びましょう。
おもちゃは安全で丈夫なものを使い、遊んだ後は片付けて誤飲誤食を防止しましょう。
また、季節に応じた室温管理も大切です。



健康管理でずっと元気に！

愛犬の健康を守るために、信頼できる「かかりつけの動物病院」を決めておきましょう。
年に1回の健康診断は、病気の早期発見や予防につながります。日頃から体調や行動の変化に気を配り、異変を感じたら自己判断せず早めに診てもらいましょう。狂犬病ワクチンや混合ワクチンの接種も忘れずに行いましょう。



ごはんで育む健康と満足感

ごはんは年齢や体質、運動量に合わせて適切な種類と量を選びましょう。
食器は清潔で丈夫な陶器やステンレス製がおすすめです。早食いしがちな子には、専用の器や知育おもちゃを使うと、効果的です。
ごはんの時間を、心と体の健康を育む大切な時間にしてあげましょう。

